

国産の生鮮魚介類の名称例					
No.	科名	種・亜種の標準和名 (ここで使用する“標準和名”とは、専門家の間で認知され、図鑑等で使用されている和名を指す。)	左欄に代わる 一般的名称例	学名	備考
1	ナガスクジラ科 Balaenopteridae	イワシクジラ	—	<i>Balaenoptera borealis</i>	漁業の許可及び取締り等に関する省令に基づく農林水産省告示により、漁獲可能な種かつTAC(漁獲可能量)の配分有り。 分類学的研究の進展に伴い、ニタリクジラの種小名は変更。
2		ミンクケジラ	—	<i>Balaenoptera acutorostrata</i>	
3		ナガスクジラ	—	<i>Balaenoptera physalus</i>	
4		ニタリクジラ	—	<i>Balaenoptera brydei</i>	
5		ザトウクジラ	—	<i>Megaptera novaeangliae</i>	
6	マッコウクジラ科 Physeteridae	マッコウクジラ	—	<i>Physeter macrocephalus</i>	漁業の許可及び取締り等に関する省令に基づく農林水産省告示により、定置網による混獲や、座礁もしくは漂着した個体が捕獲される。 ザトウクジラの学名を世界哺乳類標準和名目録に合わせ修正。
7	アカボウクジラ科 Ziphiidae	ツチクジラ	—	<i>Berardius bairdii</i>	TAC(漁獲可能量)の配分有り。 学名を世界哺乳類標準和名目録に合わせ修正。
8	マイルカ科 Delphinidae	コビレゴンドウ	マゴンドウ(★)	<i>Globicephala macrorhynchus</i>	漁業の許可及び取締り等に関する省令(以下、「省令」とする。)に基づく知事の許可により漁獲可能な種かつTAC(漁獲可能量)の配分有り。 TAC対象種であるカマイルカ、カズハゴンドウ及びシワハイルカを水産庁の提案に従い追加。 省令に従い、コビレゴンドウ及びマダライルカの別名を一般的名称例として追加。 <i>Tursiops truncatus</i> の標準和名については、「世界哺乳類標準和名目録」(川田ら、2018)に従った。
9		カマイルカ	—	<i>Lagenorhynchus obliquidens</i>	
10		ハナゴンドウ	—	<i>Grampus griseus</i>	
11		カズハゴンドウ	—	<i>Peponocephala electra</i>	
12		オキゴンドウ	—	<i>Pseudorca crassidens</i>	
13		シワハイルカ	—	<i>Steno bredanensis</i>	
11		バンドウイルカ (バンドウイルカ)	—	<i>Tursiops truncatus</i>	
12		スジイルカ	—	<i>Stenella coeruleoalba</i>	
13		マダライルカ	アラリイルカ(★)	<i>Stenella attenuata</i>	
14	ネズミイルカ科 Phocoenidae	イシイルカ	—	<i>Phocoenoides dalli</i>	★ 地方名